

# 絶賛の声、続々！

時代小説としても本格としても密度が高く、変化に富み、隙がなく、何より面白い。

青崎有吾

幕末から明治にかけての政治変動と本格ミステリが見事に融和していて、その手腕にただ感嘆した。

太田忠司

これは凄い新人が現れたと、興奮した。(中略)かなり企みの多い作品なので、突っ込んで書けない部分がある。だから読んでくれとい

うしかない。

細谷正充

(小説幻冬 2019年2月号)

『刀と傘 明治京洛推理帖』伊吹亜門 東京創元社

数々の話題作を抑えてミステリランキング  
大型新人のデビュー作!

第1位